

## Press Release

(行事・催し物)

|                          |                                                                                                                |     |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 件名                       | 美唄の未来を語らい考えるワークショップ vol.3「福祉」を美しくしようの開催について                                                                    |     |
| 実施日                      | 令和5年7月19日(水)                                                                                                   |     |
| タイムスケジュール<br>(詳細に記載願います) | 日 時                                                                                                            | 内 容 |
|                          | 18時00分～20時00分                                                                                                  |     |
|                          |                                                                                                                |     |
|                          |                                                                                                                |     |
| 場 所                      | 美唄市役所 大会議室A                                                                                                    |     |
| 主 ( 共 ) 催                | 美唄市・株式会社FoundingBase                                                                                           |     |
| 開 催 の 趣 旨                | 美唄の若者が主体となって作成した美唄ブランド「Be Beautiful 美しくあれ。」を活用して美唄の魅力を市内外に発信していくために、「〇〇を美しくしよう。」をテーマに市民参加型のワークショップを定期的開催しています。 |     |
| 内 容                      | 詳細別紙のとおり                                                                                                       |     |
| 参 加 対 象                  | 福祉関係者、まちづくりに興味のある方                                                                                             |     |
| 参 加 人 数                  | 17名                                                                                                            |     |
| 備 考                      |                                                                                                                |     |
| 担 当 課                    | 美唄デザイン課デザイン係 担当 橋本<br>電話 0126-62-3137 (直通)                                                                     |     |

# 美唄の未来を 語らい考える ワークショップ

## vol.3「福祉」を美しくしよう。

様々な困難が予想される美唄市の2040年を見据え、2022年から美唄シティプロモーション事業が始動。20年後の美唄を引っ張る10～30代の美唄市民と「美唄の未来に夢を描く委員会」立ち上げ、これからの指針となる美唄ブランド『BeBeautiful 美しくあれ。』を作成しました。このブランドに込めた想いをみなさんと共有し、今回は「福祉」をテーマに、変化を起こしたい部分を一緒に考えるワークショップを開催します。

美唄シティプロモーションの詳細はこちら！



会 場：美唄市役所会議室A

人 数：先着20名

対 象：福祉関係者、まちづくりに興味のある方

参加費：無料

持ち物：特になし

7.19 (水)  
18:00-20:00

2040年に美唄がどうなっていたら  
ワクワクするだろうか。  
そんなまちにするために、  
私たちは何ができるだろうか。



申込み

メールか、申込みフォームからお申し込みください。

7.14 (金)  
〆切

メール  
bibai.citypr@gmail.com

申込み  
フォーム



Bibai  
Be Beautiful  
美しくあれ。

## ◆美唄シティプロモーション推進事業について

北海道美唄市と、地方を舞台に全国で事業を展開している株式会社 FoundingBase（本社：東京都世田谷区、代表：佐々木喬志）は、令和4年度から美唄シティプロモーション推進事業を進めています。

本事業は、人口減少などの様々な課題が予測される2040年を見据えて、市民のシビックプライドの醸成と関係人口・移住人口の増加を目的としています。

当初、美唄市とFoundingBaseの話し合いの中で議論になったのが「2040年の美唄は今の若者によって支えられている。まちの未来は若者たちの感性で考えてもらう方が良いのではないか。」ということでした。そこで令和4年度は、これからの指針となる美唄ブランドの構築に向けて、10代から30代の市民11人と「美唄の未来に夢を描く委員会」を立ち上げ、「美唄の軸となる魅力」の言語化を進め、その魅力を伝えるためのシンボル（キャッチコピー・ロゴマーク）」を完成させました。

令和5年度は、美唄ブランドの確立に向けて、キャッチコピー「Be Beautiful」やBのロゴマークを軸に、SNSでの情報発信やワークショップ、イベントの実施を通して、市内への認知や議論を広げていきます。

## ◆「Be Beautiful」に込めた想い

美しさとは見た目の美しさではなく、幾多の逆境を乗り越えてきた美唄人の生き方そのものであると、「Be Beautiful」という言葉にたどり着きました。Bをモチーフにしたロゴマークには、美唄の「唄」を表す音符と、美唄独自の美（ビ）を追求するという想いが込められています。そのプロセスをコンセプトブックやプロモーションムービーとして特設WEBサイトにまとめ、タペストリーやポスターを市内に掲示しています。

特設WEBサイト：<https://bibai-citypr.jp/>

## ◆美唄ブランドの確立に向けたワークショップの定期開催

本事業の市内での認知度を向上させるために、SNSや広報紙での情報発信を行っています。また市民との協働を通してシビックプライドを育むために、「〇〇を美しくしよう。」をテーマにしたワークショップを定期的に行っています。この他、美唄の魅力の再認識を目的としたイベントの開催や、まちの取り組みや未来について関心を持つ人が集まるコミュニティスペースの開設を予定しています。

## ◆これまでのワークショップ実施

ワークショップでは、シンボルに込めた想いを参加者と共有し、職業や立場を超えて、自分たちが美唄でできることを一緒に考えます。またワークの中で出たアイデアを市民が主体的に実施できるように、企画の補助や情報発信といった伴走支援を行っています。

初回（5月17日）に行った若手市職員を対象とした「行政サービスを美しくしよう。」では、18名が参加し、ワークの中で出たアイデアを基に、市広報紙の表紙と封筒のデザインが新しくなりました。

2回目（6月14日）に行った「農産物PRを美しくしよう。」では、農業関係者を中心に14名が参加しました。現在ワークの中で出たアイデア「市民向けの農業体験イベント」に向けて、企画を進めています。